

中央図書館のリニューアルについて

1 概要

生涯学習センター機能強化等改修工事について、令和7年9月からは中央図書館を休館し、令和8年12月の中央図書館リニューアルオープンに向けて工事を進めている。

引き続き、閲覧席や電子機器持込席の増設、Wi-Fi環境の整備、読書バリアフリー環境の充実やカウンターの拡充などにより、図書館環境を整備し、魅力のある読書空間づくりを行っていく。

2 主な整備内容

(1) アクティブラーニングルームの整備

- ・親しみやすい場所となるよう愛称名を公募し、利用対象となる児童生徒等の投票を経て、「学び場」に決定した。
- ・10代の児童・生徒等を対象とし、図書資料やインターネットを活用して話し合いながら学習や課題解決に取り組むことができる場を提供する。
また、居心地の良い環境づくりと、利用者の自主学習や自主イベントを支援するために、ファシリテータを配置する。
- ・可動間仕切り、可動式の椅子・机を設置することで、講座・イベントの有無や規模に応じて、独立した空間・統合した空間の使い分けを可能とする。

(2) 座席予約システムの整備

- ・座席予約システムを導入し、インターネットから中央図書館の閲覧席等の予約や空き状況の確認を可能とする。

(3) デジタルサイネージの設置

- ・図書館内にデジタルサイネージを設置し、視覚的に図書館に関する情報を発信。
- ・池波正太郎記念文庫の時代小説コーナーにデジタルサイネージを設置し、時代小説の年表等の情報を発信。

3 予算額 (案)

183,902千円

4 今後の予定

令和8年9月

10～11月

12月

改修工事完了

館内へ什器類・図書資料の搬入・設置

中央図書館リニューアルオープン